

編集後記

2022年度はコロナ禍が次第に収まっていくという光明が見えましたが、ロシア軍のウクライナ侵攻、トルコ・シリアでの大地震など、西アジアで活動する我々にとって憂慮すべき事件が起こり、平穏とは言えない一年でした。今後も、我々一人一人が、これらの問題にどのように取り組んでいくか、真剣に考える必要があるでしょう。このような困難な局面で、今年度は学会の役員改選があり、本編集委員会のメンバーも入れ替わりました。

前年度まで編集作業を担当された、三宅裕前編集長、また編集委員の皆様におかれましては、本当にお疲れ様でした。新委員会といたしましては、これまでの編集方針を継承しながら、真摯に編集作業に取り組んで参ります。

今号は、論文3本、研究ノートと報告が1本、という内容になりました。前号より、やや少なめの頁数になっておりますが、実際は院生を中心とする若手研究者の方から、積極的なご寄稿をいただいております。そのため、委員会がお預かりした原稿はもっと多かったのですが、査読の結果、次号へ向けて修正を依頼する論考がいくつかあり、全ての論考を掲載できない結果となりました。最近是全国的に考古学の学会活動の高年齢化が危惧されておりますが、本学会においては、そのような心配は必要ないようです。

今号には前田耕作会員と脇田重雄元会員の追悼文を掲載しております。これまでお二人には本当にお世話になりました。ご指導いただいたことを忘れずに学会活動に精励したいと存じます。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

(足立拓朗)

『西アジア考古学』 編集委員会 (2022年度)

編集委員長：足立拓朗 (金沢大学)

編集委員：新井才二 (東京大学)、有村 誠 (東海大学)、板橋 悠 (筑波大学)、上杉彰紀 (金沢大学)、小野塚拓造 (東京国立博物館)、河合 望 (金沢大学)、坂本 翼 (京都大学)、柴田大輔 (筑波大学)、下釜和也 (千葉工業大学)、周藤芳幸 (名古屋大学)、千本真生 (古代オリエント博物館)、巽 善信 (天理大学附属天理参考館)、宮下 佐江子 (国士舘大学)、矢澤 健 (東日本国際大学)

西アジア考古学 第24号

2023年3月31日発行

編 集 『西アジア考古学』編集委員会

発 行 日本西アジア考古学会

事務局 〒305-8571 茨城県つくば市天王台1-1-1

筑波大学人文社会系歴史・人類学専攻 三宅研究室

FAX 029-853-4432

(日本西アジア考古学会事務局宛と明記)

e-mail office@jswaa.org

URL <http://jswaa.org>

印 刷 株式会社アイワード

